

年間第三主日

2016.1.24

ルカ 1・1-4, 4・14-21

ジョン神父（クラレチアン宣教会）

今日は年間第三主日です。

預言者ネヘミヤはイスラエルの民全員にこう言っています。「今日はあなたたちの神、主に捧げられた聖なる日だ。嘆いたり、泣いたりしてはならない」。彼は更にこう言った。「行ってよい肉を食べ、甘い飲み物を飲みなさい。その備えないものには、それを分け与えてやりなさい。今日は、われらの主に捧げられた聖なる日だ。悲しんではならない。主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である」。

バビロンに捕囚された後、イスラエルの民は深い悲しみの中にいました。なぜなら、神殿は破壊され、彼らは礼拝をする場所を奪われてしまったからです。彼らにはシナゴグという場所しか与えられませんでした。しかし、神は預言者を送って民を慰めてくれました。民は希望に満たされて、神に向けて顔をあげました。

第二朗読では、パウロはこう言っています。からだは一つでも多くの部分からなり、多くの体の部分があってもからだは一つであるように、キリストの場合も同様であると言っています。これは共同体の中の皆が平等であり、どこの国の出身であるか、肌の色が何色などは関係なく、全ての人が同じ神の聖霊を持っている主の子どもであるということです。

今日はイエス・キリストの公式な宣教開始について話をしています。イエスはふるさとのガリラヤ地方に帰っていました。ルカの福音書で、わたしたちはイエスが宣教を開始する前に何をしていたのか、また、ヨルダン川に行かれその後砂漠に行き鍛錬され、最後に聖霊と共にふるさとに帰ってきたことがわかります。聖霊はイエスを導き、そして聖霊によって砂漠に導かれたイエスはそこで人の弱さに出会いました。

イエスはふるさとに帰る前に多くの驚くことをして、わたしたちはそれを信じていたので、彼の名前は知れわたっていました。

イエスは安息日に会堂に入り、聖書を朗読しようとしてお立ちになった。預言者イザヤの巻物が渡され、お開きになると次のように書いてある箇所が目にとまった。「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるた

めに、主がわたしに油を注がれたからである。主がわたしを遣わされたのは捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由にし、主の恵みの年を告げるためである」。シナゴグと呼ばれるユダヤ教の礼拝所では、普通、トーラーか預言書を読み、そして祈りを捧げ、そしてメッセージが読み上げられます。

イエスは巻物を巻き、係りの者に返して席に座られた。そこでイエスは「この聖書の言葉は、今日、あなたが耳にしたとき、実現した」と言っています。そのまま聖書を読み続けていくと、イエスは歓迎されず、ふるさとの人に拒絶されたことがわかります。

イエスが話されたとき人は大変驚きましたが、すぐに大工のヨセフとマリアの子どもであるとわかりました。

今日読んだところで二つ言いたいことがあります。

一つは聖霊です。

わたしたちは神から一つ聖霊を授けられています。聖霊は命の糧となります。聖霊を通して平安を見いだすことができます。聖霊によって正しい道を日々の生活の中で見つけられます。ヨルダン川でイエスは聖霊を授けられました。その聖霊は神から注がれたものです。わたしたちが洗礼を受けたとき、聖霊が宿り、その聖霊によった正しい道へと進むことができます。だから、今日最初に読んだ預言者ネヘミヤはイスラエルの民に向って神のみ言葉を聞くようにうながしています。それで神の呼びかけにこたえることができるからです。今日の福音で多くの貧しい人たちが聞いていますが、それを信仰が聞いていると言います。彼らは他の言葉が聞き取れません。他人が何を言おうと気にはしません。目を閉じて話すことより聞くことをします。そうすることで聖霊のささやきがいつも聞き取れるはずですが、わたしたちは神の御声に耳を傾けることを学んでみましょう。

二つ目にイエス・キリストの宣教です。

彼は聖書で何を読んだのでしょうか。人々に福音をしらせて、捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人に自由をもたらせました。貧しいとはどういう意味ですか？ 貧しいとは二つの意味があります。一つは肉体的に、そしてもう一つは霊的に、です。捕らわれ人とは、罪悪感や罪という意味です。目の見えないとは、心と思いが盲目になり閉ざされていることです。真実を認めることができなくなります。そして圧迫されている人に自由を、です。単純に神の約束が成就されています。イエスはイザヤの言葉を成就しました。イエス無しでは、聖なる書物が身近になることは

ありません。

わたしたちはイスラエルの民がイエスの言ったことを信じていないことを目にします。彼らは心と思いが盲目であり、彼らは人々を力で統治しようとしています。もしわたしたちが解放されたければ、自分たちを先ず解放しなければいけません。イスラエルの民は、主の存在を拒否しました。そして、イエスからの真実を受け入れようとはしません。

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは日々の生活の中で常に心と思いを聖霊にたいして開きましょう。わたしたちは、聖霊が共に住んでくださる場所を備える必要があります。そうすることで、心と思いと目を開いて真実を見ることができ、解放者になることができると思います。そして、家族や共同体で平和、愛そして正義に貢献できます。